

1	名称	アジサイ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			800~1200m程度	日当たりが良いところから半日陰まで、水はけが良ければ土質は選ばない。	7月頃花を咲かせ、土壌の酸度によって花色が変化する種もある。
樹高	5m以下	特徴、由来など		一口にアジサイと言っても広く、野生種のカクアジサイから様々な園芸品種を合わせて3000種以上存在するといわれている。	
科名	ユキノシタ科				



ハイドランジャー



ヤマアジサイ



タマアジサイ



ヤマアジサイ

2	名称	イチイ (アララギ)	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日当たり、水はけが良く風通しの良い場所に植える。	3～4月に花を咲かせ、9～10月雌花が熟し赤い実のようになる。
樹高		5m～20m	特徴、由来など	材で笏を作ったことから、一位の位にちなんでこの名が付いたといわれている。この通り材は高級な建築物や基盤、彫刻材などに使われている。	
科名		イチイ科			



3	名称	イチョウ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	環境に対する適応力が高いため、日当たりが良ければ育つ。	4月頃に花が咲き、9月頃に種子が成熟する。
樹高		20m以上	特徴、由来など	白くて硬い内種皮が銀杏であり食用。外種皮は黄色でかぶれる恐れがある。また実は雌しか付けない。樹齢が長く、かなりの巨木まで成長する。	
科名		イチョウ科			



4	名称	ウメ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たり、水はけの良い場所を選び春前頃に植える。	3～4月に葉に先立って、白、紅、淡紅色の花が咲く。
樹高		5m～20m	特徴、由来など	徒長枝が多く発生するため、開花前に取り除く。	
科名		バラ科		剪定する位置によって、その後の枝、花芽のつき方が異なってくるので、目的にあった位置で切る。	



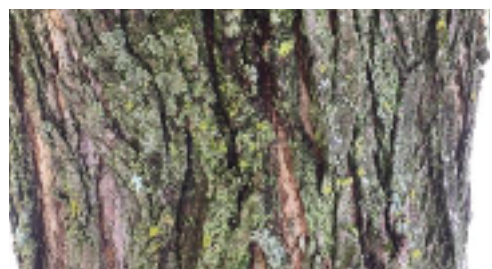
5	名称	ウメモドキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	日当たりで花付きが良くなるため、1日に3～4時間日の当たるところが良い。	種によって5mm程の赤や白の実が枝一面に付く。
樹高	5m以下		特徴、由来など	4mmと小さく目立たない花を咲かせるが、花の形がウメに似ているところからこの名が付いた。樹木はあまり大きくならないが、3本株立ち仕立ても良く、樹姿、紅葉が美しい。	
科名	モチノキ科				



6	名称	エゴノキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1100m程度	直接風の当たらない半日陰、やや湿り気のある土を好む。	6月頃に白い花が新梢の枝先、葉腋に、1～6輪垂れ下がって咲く。
樹高		5m～20m	特徴、由来など	水は、ひどく乾燥している時を除き必要ない。 カイガラムシやカミキリムシの幼虫を見付けしだい薬剤で防除する。鹿の被害が少ない。	
科名		エゴノキ科			



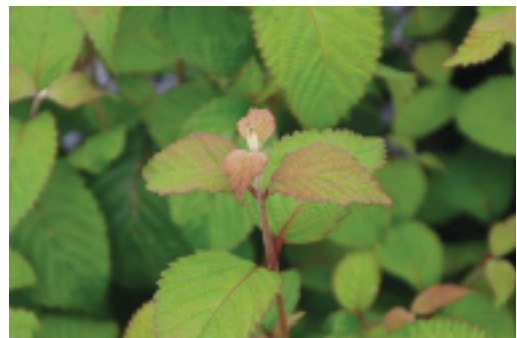
7	名称	エンジュ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たりが良く、肥沃な土壌を好む。	7～8月頃、枝先に小さな花が穂になって咲く。
樹高		5m～20m	特徴、由来など	強風に強く、乾燥にも耐える。黄色の内樹皮には独特の臭気がある。 中国原産の樹高20m以上になる落葉高木で、中国では出世の樹として中庭に植えられる。	
科名		マメ科			



8	名称	オウゴンアカシア	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	乾燥には耐えるが風に弱いため、日当たりのよい風を受けない場所が良い。	夏の葉も綺麗な色をしているが、名の通り秋には葉がより黄金色に。
樹高	5m～20m		特徴、由来など	特に悪い土壌でも良く育ち、台風の少ない北海道などの利用が多い。 そのため、台風の影響を大きく受ける。	
科名	マメ科				



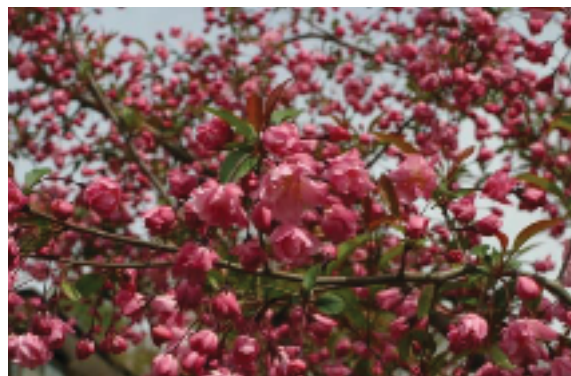
9	名称	オオデマリ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日陰では花つきが悪いため日当たりが 良い場所が良い。	6～7月頃に白色の花が集まった、 手まり状の花を付ける。
樹高	5m以下		特徴、由来など	アジサイのような大きな手まり状の白花を、株を覆うように咲かせるのが特徴。前年枝から伸びた枝先に花を付けるため、春に剪定を強く行くと花が見られなくなる可能性がある。	
科名	スイカズラ科				



10	名称	カイドウ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たりが良く、水はけが良い土壌を好む。	4～5月頃、枝先に4cm程の紅色の花を4～6個に垂れ下がつて咲く。
樹高	5m以下	科名	特徴、由来など	一般的には「ハナカイドウ(花海棠)」と呼ばれることが多い。中国原産で、中国ではボタンに次いで広く愛好されている。昔から美人の形容に使われるほど美しい花を咲かせる。	
科名	バラ科				



ミヤマカイドウ



11	名称	カエデ・モミジ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000～1500m程度	日当たりが良く、水はけが良い土壌が適している。西日は避ける。	主に秋頃、種類によって紅や黄に葉を染める。
樹高	5m～20m	科名	特徴、由来など	乾燥に弱いので、葉がチリチリにならないよう葉にも水をかけるとなお良い。紅葉を楽しむためには、肥料分が秋まで残らない程度に時期と量を調節する。	
科名	カエデ科				



シダレモミジ



ヤマモミジ



ノムラモミジ



オオイタヤカエデ

12	名称	カキノキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たりが良い場所なら、土質はあまり選ばない。	6月頃、葉腋に黄緑色の花を付ける。
樹高	5m～20m	特徴、由来など		樹形が面白く、果樹としてだけでなく紅葉も美しく楽しめる。 甘柿は日本で淘汰されてきたものである。柿の渋にはタンニンが多く含まれているので、様々な方法で渋をとっている。	
科名	カキノキ科				



13	名称	カツラ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日当たりでも半日陰でも良く、たいていのところで育つ。	ハート形の葉が繊細な雰囲気、新緑も黄葉も美しい。
樹高	20m以上	特徴、由来など		山に生え、樹高20m以上になるカツラは、秋に葉が黄色になり山で目立つ存在である。自然樹形が美しいので広い場所なら剪定をしない。	
科名	カツラ科				



14	名称	カリン (マルメロ)	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	乾燥をやや嫌うが適応力が高いため、肥沃な土壌では場所を選ばず育つ。	4～5月に枝先に3cm程の淡紅色の花を咲かせる。
	樹高	5m～20m	特徴、由来など	果実は10～15cmほどの楕円形をしていて、10月に黄色に熟す。硬く酸味も強いので、生食することはできないが、果実酒や砂糖漬けなどに使われている。袋をかけないと虫が入る。	
	科名	バラ科			



15	名称	キリ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1200m程度	西日と強い風の当たるところを嫌い、肥沃な砂質壤土を好む。	5～6月頃に葉に先立って紫色の花を付ける。
	樹高	5m～20m	特徴、由来など	材は非常に良質で柔らかく、軽く、用途が広い。建築や家具などのほか、日本古来の楽器である琴にもキリが使われている。	
	科名	ノウゼンカズラ科			



16	名称	クヌギ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たりが良く、適潤で肥沃な土壌を好むが、乾燥にも耐える。	果実は2cm程、長い毛の生えたはかまに半分以上包まれている。
樹高	20m以上		特徴、由来など	樹高は20mを超える。葉がクリにとても似ているが、鋸歯の先まで緑なのがクリで、鋸歯の先に葉緑体がないのがクヌギである。	
科名	ブナ科				



17	名 称	ク リ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日当たりが良く、適潤でサラサラな土壌を最も好む。	6～7月頃にびっしりと花を付け、秋に成果(栗)が成る。
樹高	5m～20m		特徴、由来など	山や丘に生え、樹高は20m近くなり、樹皮は淡褐黒色で縦に裂け目がある。堅果は長い刺のある殻斗と呼ばれるイガの中にあり、2,3個が包まれている。	
科名	ブナ科				



18	名称	クルミノキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1000m程度	日当たりが良く、湿潤、冷涼で肥沃な土壌を好む。	9月の終わりから10月の頭にかけて収穫期となる。
樹高	20m以上		特徴、由来など	耐寒性に優れていて、種類によっては－15℃くらいになる場所にも生息する。採取した実は、良く日光に当てて乾かしてから外皮を取り除き、殻を割って中の核を利用する。	
科名	クルミ科				



オニグルミ



19	名称	ケヤキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1300m程度	日当たりが良く、適潤な肥沃な土壌を好む。	小さく目立たないが、5～6月に花が咲く。
樹高	20m以上		特徴、由来など	強健で耐風力もあり、湿気にも良く耐え保存性も高いため用途が広い。 樹高は30mになり、大きいものは50mにも達し、天然記念物に指定されているものも多い。樹皮は褐色で、老木は鱗片状に剥げ落ちることもある。	
科名	ニレ科				



20	名称	コウヤマキ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日陰に強いが、日当たりの良い方が枝葉の詰まった良い形になる。	4月頃に花を咲かせ、長さ10cm程の球果が翌年の10月頃に熟す。
樹高	20m以上		特徴、由来など	樹皮はやや灰色を帯びた赤褐色で、長い薄片となって剥がれる。日本特産の常緑高木で、建築材などに使用され、木は高級な庭木として植えられる。名の由来は、和歌山県の高野山に多く自生することから名づけられた。	
科名	スギ科				



21	名称	コデマリ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1600m程度	日当たりを好むが、半日陰でも問題なく成長し花を咲かせる。	4～5月、弓なりになった細い枝の先から3cm程の手まり状に花が付く。
樹高	5m以下		特徴、由来など	中国原産で、日本では江戸初期から栽培されているといわれていて、枝の上に並ぶ花が美しく、庭や公園に良く植えられている。	
科名	バラ科				



22	名称	コナラ (ナラ)	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	日当たりが良く、適潤で肥沃な土壌を好む。	葉は倒卵形で先は鋭く、縁には尖った鋸歯がある。
樹高	5m～20m	ブナ科	特徴、由来など	樹高は15～20m程になり、幹はまっすぐ上に伸びる。樹皮は灰白色をしていて、老木では浅裂してしまう。 新芽は銀白色の綿毛に覆われていて、寒冷地では秋に紅葉する。	
科名					



23	名称	コブシ	生育標高限界	生育環境について	花、実、紅葉、幹など
			1500m程度	半日陰でも育つが、日当たりが良く、やや湿潤で肥沃な土壌を好む。	4～5月、枝先に6～10cmの白色の花が咲く。
樹高	20m以上	モクレン科	特徴、由来など	タムシバと良く似ているが、タムシバと違い花の下に葉が一個付くのが特徴。またタムシバの葉の裏は白っぽく、コブシの葉の裏は緑色。花の数もコブシの方が多く付けるため見分けることは可能である。	
科名					

